



--

備考

地域活性化、周遊、回遊について紹介する記事とする。

---

## ■ヘッダー情報

本タイトル
スタンプラリーの成功事例を厳選！地域活性化の理由と集客効果を高める工夫も紹介
記事概要・ディスクリプション(120文字程度)
地域活性化に最適な方法をお探しではありませんか？本記事では、スタンプラリーの地域活性化に関する成功事例を紹介するとともに、なぜ適しているのかを解説いたします。集客効果をさらに高める企画の立て方もご紹介いたしますので、観光客・イベント参加者の回遊率・滞在時間を伸ばす方法をお探しの方はぜひご一読ください。

## ■本文

<H1>スタンプラリーの成功事例を厳選！地域活性化の理由と集客効果を高める工夫も紹介

リード文

[▶スタンプラリーの魅力を詳しく知りたい方はこちら](#)

## <H2>スタンプラリーによる地域活性化の成功事例5選

※Shachihata Stamprallyの導入事例(地域活性化に関するもの)で比較的最近のものいくつかピックアップして掲載します

### <H3>秋色きたはりま 北はりま紅葉八景スタンプラリー

実施期間: 2023年10月21日～2023年12月10日

2020年から開催、加東市・加西市・西脇市・多可町のエリア内の紅葉スポット8箇所をすべて巡ると完成する重ね捺しスタンプラリー

スタンプ4個で1口、8個で2口分の北播磨の特産品の抽選権が付与される

2023年は「ラベンダーパーク多可」が新たなチェックポイントとして選出されている

### <H3>鉱石の道

実施期間: 2021年～常設

日本の近代化の礎といえる高山開発の原点となった3つの鉱山「鉱石の道」がある生野エリア内の6箇所に重ねて捺すタイプのスタンプラリーを設置

完成した台紙は、絵葉書として来場者から喜ばれている

### <H3>八幡堀まつり

実施期間: 2021年11月～常設

滋賀県近江八幡市で毎年開催される「八幡堀まつり」で重ね捺しスタンプラリーを採用

密を避けられる安心感や観光スポットを楽しく巡りながら可愛いイラストが完成することから、県内外の年代・参加者から好評イベント終了後は安土城郭資料館にて常設企画として活用中

### <H3>秋の京都を巡ろうスタンプラリー

実施期間: 2011年11月20日～2011年12月15日

京都府内にある石清水八幡宮・北野天満宮・下鴨神社・平安神宮・八坂神社の5つの観光名所をラリーポイントに設定した事例  
5社のうち2社以上のスタンプ集めればプレゼントキャンペーンに応募できる仕組み  
紅葉シーズンで賑わいを見せる京都で多くの観光客が参加、精密な印影が人気を博した

### <H3>なごやの公園スタンプラリー

実施期間: 2011年10月29日～2011年11月27日

名古屋市内の公園・施設15カ所にラリーポイントを設置、28,000人の参加を想定したスタンプ・クイズラリーイベント  
スタンプを集めることで限定ピンバッジがプレゼントされるほか、クイズに正解すればプレゼントの抽選へ応募できる  
家族で一緒に楽しめるイベント、全施設の入園者総数は約695,486人で前年比156%を達成

## <H2>地域活性化イベントにスタンプラリー企画が適している3つの理由

### <H3>回遊率が上がる

スタンプラリーは入ったことのないエリア・店舗を回遊するきっかけになる  
隠れた地域のおすすめスポットをラリーポイントに設定することで、地域の新たな魅力をアピールできる

### <H3>滞在時間が延びる

スタンプラリーを開催すれば、参加者の滞在時間を延ばせる  
通常だと半数以上の方が60分以下しか滞在しないところ、スタンプラリーの実施日には参加者の約6割が1時間以上滞在、15分以下がほとんどいなくなった

### <H3>満足度が高まる

スタンプラリーはあらゆる年代が一緒に楽しめるイベント  
参加者の約9割が満足したと回答、半数以上の完走率  
旅行・観光の思い出作りに最適、子どもに人気なことから家族連れからも好評

## <H2>スタンプラリーはアナログとデジタルのどちらのやり方を選ぶべき？

スタンプラリーにはアナログ式とデジタル式の2種類がある  
結論、どちらも一長一短  
メリット・デメリットを比較し、開催規模や期間、コンセプトに合わせて選ぶこと

### <H3>アナログスタンプラリーのメリット・デメリット

複雑な作業が不要でやり方が簡単、全世代に馴染みがあるため幅広い人が参加できる  
情緒あふれるイメージや、スタンプを集めた台紙自体が思い出の品になるのも魅力  
重ね捺しなど、アート性の高いスタンプラリーなら長く保管して楽しんでもらえる

ただし、運営管理や結果の集計に手間がかかる

参加者の混雑の回避対策が難しい

備品購入代やスタッフ配置の人的費などに費用がかかるうえ、長期開催でランニングコストがかさむ

### <H3>デジタルスタンプラリーのメリット・デメリット

チェックポイント設置および印影データ登録のほかは準備・運営作業がほとんどないため手間が最小限

データ集計やデジタル連携キャンペーンが手軽にできる

混雑・密集を避けたイベント開催が可能

しかし、スマートフォン・タブレット所有者しか参加できない

アプリのダウンロードやテキスト入力作業など、ある程度の操作方法が理解できる方でないと十分に楽しめない

インターネット環境が不安定な場所での開催が制限される

▶ [デジタルスタンプラリーについて詳しく知りたい方はこちら](#)

## <H2>スタンプラリーの集客効果をさらに高める7つの工夫

### <H3>誰もが参加しやすいイベントにする

参加料を無料もしくは安価に設定する、当日参加OKなど、ふらっと訪れた人でも気軽に参加できるようにしておくが良い

スタンプラリーの参加・達成の条件が厳しいと、抵抗感を抱かせてしまい、参加してもらえない

チェックポイントの数は1~2時間で回れる範囲に10~15箇所程度にすることで飽きずに楽しめる

### <H3>シンプルな仕組みにする

子ども向けとしても問題ないようシンプルなルール設定や表記を心がける

コンセプトや達成条件をあらかじめわかりやすく提示しておくことも参加率・完走率を上げるために重要なポイント

### <H3>スタンプのビジュアルにこだわる

重ね捺しなどアート性のあるスタンプラリーなら多くの興味を集められる

スタンプ収集の過程も楽しく、完成後も記念として保管したくなる

### <H3>地域の観光資源やキャラクターを活用する

いち押しの観光スポットをチェックポイントに設置、映画・アニメの撮影地なら聖地巡礼など、地域が誇る観光資源を最大活用することで参加者の満足度が向上

お花見・紅葉スポットをチェックポイントに設定して季節感を取り入れたり、グルメスポットなどを巡ったりするイベントを開催するのもおすすめ

人気のご当地ゆるキャラとのコラボレーションでファンの参加を促す

### <H3>さまざまな周遊イベントと組み合わせる

ただ街歩きをするだけでなく、謎解きや宝探しなどのコンテンツと組み合わせた周遊イベントにするのがおすすめ

ゲーム性やエンターテインメント性を高めることで参加者の達成感・満足感アップする

組み合わせはアイデアによって多種多様、コンセプトと面白さが両立できるコンテンツを選ぶこと

[▶周遊イベントについて詳しく知りたい方はこちら](#)

### <H3>アナログ・デジタルを併用する

予算に余裕があるならお互いの弱点をカバーできるアナログ・デジタルの併用もおすすめ

参加者に好きな方を選ばせると良い

プロモーション施策に関しても、チラシ・ポスターや看板掲示とWebサイト・SNSによる情報拡散を併用することでより広範囲にイベント開催を告知できる

### <H3>景品を進呈する

スタンプラリーのオリジナルグッズを景品として進呈すれば、参加者増加、達成までもモチベーション維持に効果的

アナログ式なら缶バッジ・クリアファイルなどの粗品を参加者全員に進呈、先着順や抽選で高額商品への応募権などデジタルスタンプラリーならクリア画面にオリジナルの壁紙や電子クーポンなどへのリンクを貼ることでシームレスな進呈が可能

スタンプラリーの難易度に適した景品を設定すること

## <H2>地域活性化には事例も豊富なShachihata Stamprallyの重ね捺しがおすすめ！

本記事のまとめ

サービス訴求